

事務事業名		伊那谷美術展示公開事業			会計	一般会計		事業種別		政策	開始	1	終了		
H27担当課等名		美術博物館		H27係等名	学芸係		H26係等名		学芸係						
基本計画上の位置づけ		政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり			施策	29	ふるさと意識の醸成						
目的	対象(誰・何を)	1 飯田下伊那広域圏の地域住民 2 学芸員の調査・研究活動						対象指標	指標名及び単位		26年度数値				
	意図(どういう状態にするか)	1 展覧会の開催を通じて、自然や文化・芸術に対する関心が高まり、新たな知識や感動を得る 2 調査研究活動の成果を地域に還元する							圏域住民数(人)		164580				
	向上させたい上位施策の成果指標	1 飯田の自然・歴史・文化を学んでいる市民の数(延べ人数)													
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)						
	成果指標	展覧会の観覧者数(延べ人数)			6000	8360	9000	6000							
	成果指標	実施した展覧会(特別展・企画展・特別陳列・コレクション展示)の回数(回)			3	4	9	3							
定性目標															
事業概要		<p>飯田下伊那地方は、江戸時代の佐竹蓬平や鈴木芙蓉を筆頭に、様々な美術家を輩出した地域である。これら伊那谷に関わりのある美術家についてコレクション展示や特別展を実施する。この事業により美博に訪れれば伊那谷ゆかりの美術を鑑賞することができ、飯田の文化芸術を概観することができるようにする。これによって地域の文化芸術に感動し、誇りと愛着を実感できる場を作る。この事業は以下の内容となる。</p> <p>1 郷土作家の館藏品・寄託品などをコレクション展示(平常展示)を通じて公開する。 2 郷土作家に関する特別展を計画し、実施する。</p>													
事業内容					名称				活動指標						
26年度事業内容	1 展覧会				1 開催する企画展の回数				1 1回						
	(1)コレクション展示 春草と飯田町の美術1 11月8日～12月7日 (2)コレクション展示 春草と飯田町の美術2 12月13日～1月12日 (3)コレクション展示 伊那谷の洋画家たち 1月17日～3月15日 (4)第15回現代の創造展 2月1日～2月22日 2 刊行物				2 開催するコレクション展の回数				2 3回						
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足									
事業費計(千円)①		6,658	1,271	1,267	2,486	[25特定財源](国)社会資本整備総合交付金(充当率45%) [26特定財源](国)社会資本整備総合交付金(充当率45%) [27特定財源](国)社会資本整備総合交付金(充当率45%)									
国庫支出金		2,208		42	700										
県支出金															
起債															
その他															
一般財源		4,450	1,271	1,225	1,786										
人件費計(千円)②		6,079		0											
正規職員所要時間		1,700													
臨時職員所要時間															
総事業費①+②		12,737	1,271	1,267	2,486										
事業内容・目標達成状況の振り返り		観覧者数は概ね目標値に到達した。ただし、第15回現代の創造展の観覧者は2797人で、大雪に見舞われ2113人だった14回展よりは増加したが、目標の3000人を割っている。													
改革改善の考え方	①問題点	現代の創造展は、15回展と回を重ねて、やや固定化した会場になっている。そのため近年、新人発掘やコンテンポラリー部門の充実など、企画に工夫を加えているが目立った結果は出ていない。													
	②改革提案	第15回展は、展示方法に工夫があったとともに作品全体のレベルが向上し、新人も多く新鮮さが生まれてきている。実行委員会での議論をより活発にし、現在の改革の方向を継続する。													